

ConMas i-Reporter
同一ユーザーが同じ帳票を編集する場合の
排他ロックの設定
操作マニュアル

2019.9.27

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2015-11-02	V5.1	--	初版を発行しました。
2019-09-27	--	p.4	細かな表記を修正しました。

目次

- 同一ユーザー排他ロック概要 4
- 同一ユーザー排他を有効化する 5

同一ユーザー排他ロックの概要

ConMas i-Reporterでは、入力帳票編集の開始時に排他ロックをかけて別のユーザーが編集できなくする排他ロック機能があります。

同一ユーザーIDを使用し同一の帳票を編集する場合の排他ロックについて以下のどちらをシステム共通で設定可能です。

- ・ 排他ロックを行わない。 = Default設定
- ・ 排他ロックを行う。

同一ユーザー排他ロックを有効化する

設定はシステム管理の共通マスター管理にて有効化します

- 共通キー “LOCK_SETTING”
- 共通項目名称 “REPORT_STRICT_LOCK”
- 共通項目値 “0”:同一ユーザーで排他しない “1”:同一ユーザーでも排他する
※デフォルトは“0”

ConMas Manager 有効期限：2016/04/30 ログイン中：管理員 [ログアウト] Version:5.1.5999

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスク カスタムメニュー システム管理

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理
共通マスター管理

共通マスター一覧

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値	ロケール
0	LOCK_SETTING	10	REPORT_STRICT_LOCK	0	

共通マスター参照

共通キー	LOCK_SETTING
共通項目インデックス	10
共通項目名称	REPORT_STRICT_LOCK
共通項目値	0
ロケール	

共通マスター編集

共通キー	LOCK_SETTING
共通項目インデックス	10
共通項目名称	REPORT_STRICT_LOCK
共通項目値	0
ロケール	

共通マスター編集

共通キー	LOCK_SETTING
共通項目インデックス	10
共通項目名称	REPORT_STRICT_LOCK
共通項目値	1
ロケール	

“0”:無効
“1”:有効